

令和 6 年 8 月 7 日

# 汚水処理人口普及対策会議

## ～汚水処理人口普及に向けた取組について～

徳島県 県土整備部 水環境整備課



## 議事（1）

**徳島県の汚水処理の現状について**

## 議事（2）

汚水処理人口普及に向けた取組方針(案)

## ● 汚水処理人口普及率

- ・ 汚水処理人口普及率とは、どれだけの人が生活排水処理施設を使用できるかを表す指標

$$\text{汚水処理人口普及率} = \frac{\text{下水道等を利用できる人口} + \text{合併処理浄化槽を利用している人口}}{\text{県人口}}$$

※ 汚水処理人口普及率には、単独処理浄化槽、くみ取りの割合は含まれない

・ 徳島県 汚水処理人口普及率（R4末）

**67.4%**

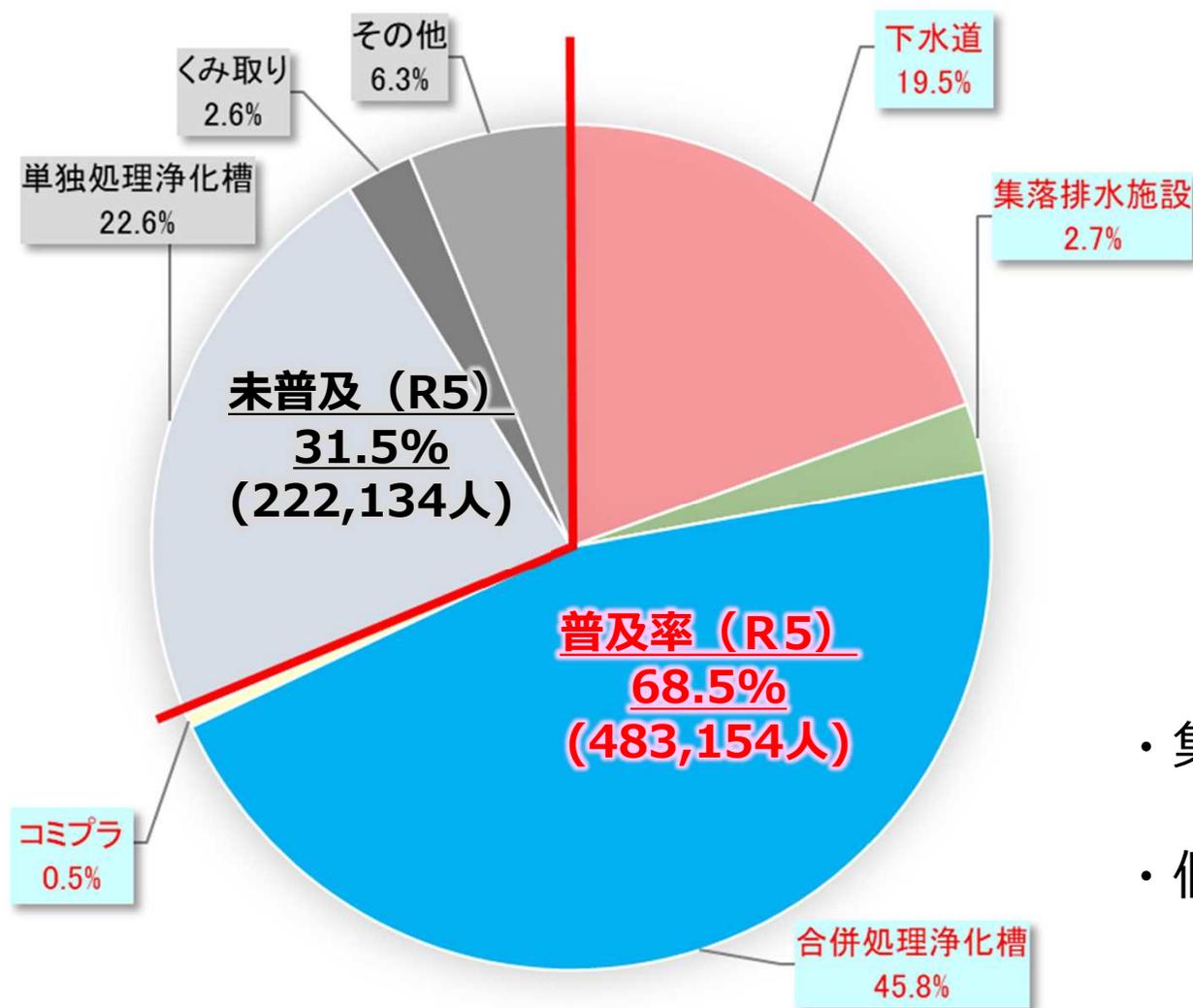
・ 全国平均 汚水処理人口普及率（R4末）

**92.9%**

全国平均との差

**25.5%**

## ●徳島県の汚水処理人口普及率の内訳（R5年度末：集計中）



内 訳	人 口 (人)	割合	
下水道	137,534	19.5%	普及済
集落排水施設	18,787	2.7%	
合併処理浄化槽	323,347	45.8%	
コミプラ	3,486	0.5%	未普及
単独処理浄化槽	159,483	22.6%	
くみ取り	18,331	2.6%	
その他	44,320	6.3%	
合 計	705,288		

- ・集合処理（下水道、集落排水等）  
対前年度比 ±0.0%
- ・個別処理（合併処理浄化槽）  
対前年度比 +1.1%

## ●なぜ徳島県の生活排水処理施設の整備が遅れたのか

### ✓ 台風の常襲地域

→ 治水対策を重視し、汚水対策の整備着手が遅れた

### ✓ 吉野川など多くの河川の水量が豊富

→ 水の汚れをあまり意識する状況になかったため

### ✓ 中山間地域や人口散在する郊外地域が多い

→ 時間と費用がかかる下水道よりも家庭用の単独処理浄化槽の普及が進んだため



水洗化率は「93.9%」（全国平均96.1%）※R4年度末

「住環境の質」は一定レベルに達している状況

→ 単独処理浄化槽の転換が進まず、  
汚水人口普及率が向上していない。



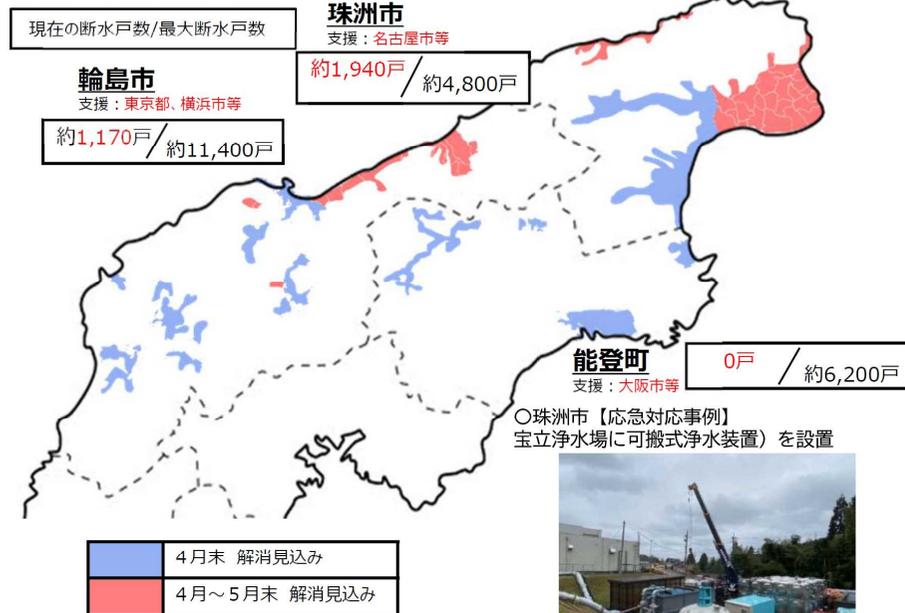
# 能登半島地震における下水道の被害状況

## 令和6年能登半島地震に伴う上下水道施設の対応状況

国土交通省  
令和6年5月8日  
13:00時点

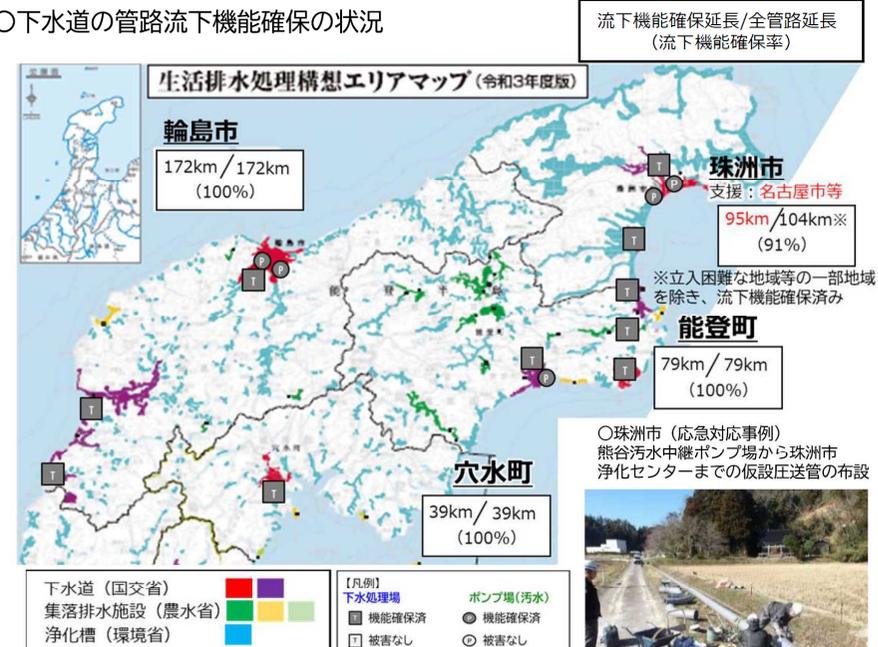
- 国土交通省は、全国自治体の上下水道職員や関係団体などと連携し、上下水道一体となった復旧支援を実施（のべ約74,600人（水道：約39,000人、下水道：約35,600人（5月2日時点））
- 石川県、富山県等6県38事業者で最大約13.6万戸が断水。石川県においては5月8日時点で97.2%が断水解消済み  
断水解消は立入困難な地域等の一部地域を除き、輪島市、珠洲市は5月中の見込み  
※断水解消は水道事業者が管理する配水管の復旧を示す。引き続き、宅内配管の対応を進めることが必要
- 下水道管路の流下機能は珠洲市の立入困難な地域等の一部地域を除き、確保済み
- 「上下水道地震対策検討委員会」を3月12日に設置し、上下水道施設の被害を踏まえた今後の地震対策のあり方や上下水道一体での災害対応のあり方などについて議論を開始
- 4月1日に「能登上下水道復興支援室」を設置し、上下水道の技術職員を七尾市に常駐させ、復旧を技術的にサポート

### ○水道の断水解消の状況



※第5回復旧・復興支援本部資料（令和6年4月23日）を基に作成

### ○下水道の管路流下機能確保の状況



※汚水処理施設の早期復旧に向けて、集落排水施設（農水省）、浄化槽（環境省）と連携

# 能登半島地震における浄化槽の被害状況

## 令和6年能登半島地震に伴う浄化槽・コミュニティプラントの被害状況と対応状況



令和6年7月29日時点

- 能登地域に設置されている浄化槽は全体で約1.9万基（うち市町設置が約3千基、個人設置が約1.6万基）、コミュニティプラントが6施設。
- 市町設置浄化槽については環境省が支援しながら、各市町において復旧工事の発注・施工を進めているところ。個人設置浄化槽についてはコールセンターを設置して問い合わせ先を一元化するとともに、コールセンターや関係団体等を通じて、復旧工事や補助申請等のサポートを実施。

市町	施設数	被害状況・対応状況
珠洲市	758基（市設置浄化槽）	市設置浄化槽は、被害状況調査や住民の意向確認等を踏まえ、390基に被害が確認され復旧工事を実施見込みであり、そのうち、工事発注基数は236基。個人設置浄化槽はコールセンターへの問い合わせが596基、被害状況調査を実施した基数が434基。
能登町	563基（町設置浄化槽）	町設置浄化槽は、被害状況調査や住民の意向確認等を踏まえ、177基に被害が確認され復旧工事を実施見込みであり、そのうち、工事発注基数は99基。個人設置浄化槽はコールセンターへの問い合わせが660基、被害状況調査を実施した基数が451基。
輪島市	766基（市設置浄化槽）	市設置浄化槽は、被害状況調査や住民の意向確認等を踏まえ、503基に被害が確認され復旧工事を実施見込みであり、そのうち、工事発注基数は145基。個人設置浄化槽はコールセンターへの問い合わせが705基、被害状況調査を実施した基数が544基。
穴水町	－（町設置浄化槽は無し）	個人設置浄化槽について、コールセンターへの問い合わせが592基、被害状況調査を実施した基数が498基。
七尾市	961基（市設置浄化槽）	市設置浄化槽は、被害状況調査や住民の意向確認等を踏まえ、137基に被害が確認され復旧工事を実施見込みであり、そのうち、工事発注基数は117基。個人設置浄化槽はコールセンターへの問い合わせが880基、被害状況調査を実施した基数が622基。
	4施設（コミュニティプラント）	2施設が被災し、応急復旧を行い、現在稼働中であり、管路点検中。今後のプラント設備点検・復旧に向け調整中。
志賀町	587基（市設置浄化槽）	町設置浄化槽は、被害状況調査や住民の意向確認等を踏まえ、221基に被害が確認され復旧工事を実施見込みであり、そのうち、工事発注基数は123基。個人設置浄化槽はコールセンターへの問い合わせが251基、被害状況調査を実施した基数が150基。
	2施設（コミュニティプラント）	2施設とも現在稼働中であり、2施設の管路2次調査を5月20～23日に実施。今後のプラント設備点検・復旧に向け調整中。

※復旧工事の実施見込み基数については、住民の意向等を踏まえた精査により、今後変動する可能性がある



地震により浮き上がった浄化槽（画像は七尾市内の例）



地震により浮き上がった浄化槽（画像は珠洲市内の例）



# 徳島県における下水道整備の取組状況①

## ●普及率向上に向けた取組

令和6年度は徳島市をはじめ13市町で事業を実施

令和6年度の下水道事業費 C=3, 192百万円（対前年度比 1.12）

○下水道未普及対策（下水道の普及に向けた管路等の整備など）  
C=1, 270百万円（対前年度比 1.15）

### ・実施市町

徳島市、鳴門市、吉野川市、美波町、海陽町、  
松茂町、北島町、藍住町、板野町



未普及対策 下水管敷設



未普及対策 マンホール築造



旧吉野川浄化センター

# 徳島県における下水道整備の取組状況②

## ●長寿命化対策等の取組

○老朽化対策（管渠更生、設備更新等）

C= 1, 5 3 2 百万円

・実施市町

徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、  
松茂町、つるぎ町、東みよし町



自家発電機改築（徳島市）

○地震対策（耐震化工事等）

C= 1 5 3 百万円

・実施市町

徳島市、鳴門市、阿南市、吉野川市、松茂町



マンホール耐震化（吉野川市）

○浸水対策（雨水排水路の整備等）

C= 2 3 7 百万円

・実施市町

徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、  
美波町、松茂町、北島町、つるぎ町



八万南都市下水路（徳島市）

# 徳島県における浄化槽整備の取組状況

## ●浄化槽整備事業

各市町村が行う浄化槽設置整備事業を補助

令和6年度 浄化槽整備事業補助金 63百万円  
(対前年度比 1.00)

●浄化槽整備事業（補助率1/3、1/4）

●公共浄化槽等整備推進事業（補助率10/30以内）

●単独槽・くみとり槽撤去費補助事業（補助率1/6以内）

●宅内配管工事（補助率1/6以内）

●安全安心浄化槽普及推進事業（補助率1/2以内）

## 浄化槽に係る国庫・県助成の概要について

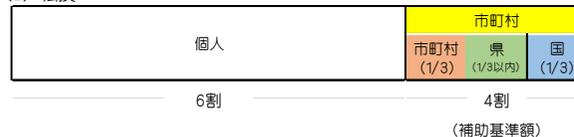
### 1 浄化槽設置整備事業（個人設置型）

- 個人が設置し、市町村が設置費用（本体＋施工費）を助成する事業。
- 個人が維持管理を行う。
- 市町村の負担は小さいが、個人の負担は増える。

#### (1) 新設



#### (2) 転換



#### ※ 浄化槽基準額

5人槽:33.2万円, 6~7人槽:41.4万円

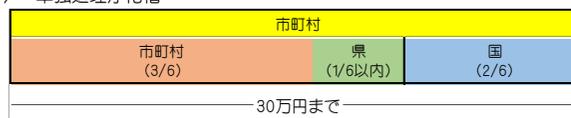
### ■ 撤去費（個人設置型・市町村設置型共通, 上乗せ補助）

#### ア 単独処理浄化槽



#### ■ 宅内配管工事費（個人設置型・市町村設置型共通, 上乗せ補助）

#### ア 単独処理浄化槽



### 2 公共浄化槽等整備推進事業（市町村設置型）

- 市町村が個人の住宅等に設置する。
- 市町村が維持管理を行う。
- 個人の負担は減るが、市町村の維持管理事務が増える。

#### (1) 新設・転換（51人槽以上の浄化槽については住宅施設に限る）



#### (2) 共同浄化槽



#### (3) 計画支援事業



#### イ くみ取り槽



#### イ くみ取り槽



注) 環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に採択された事業においては、国の助成率は1/2となる。

### ■【新設】安全安心浄化槽普及推進事業（個人設置型・市町村設置型共通）

- 「徳島県木造住宅耐震化促進事業」による耐震改修に合わせて 合併処理浄化槽への整備を行う場合、設置費に上乗せ補助



5万円まで\*  
(1基当たり)

\*市町村設置型は1万円まで

## ● とくしま浄化槽連絡協議会の取組

- 防災協定の見直し
- 国への要望
- D X化への取組
- 標準契約書の見直し

<今後の予定>

防災訓練への参加





## 議題（1）

徳島県の汚水処理の現状について

## 議題（2）

**汚水処理人口普及に向けた取組方針(案)**

## ● 第1回での主な意見

### ◆ 下水道

- ・ 接続率が低い



### ◆ 合併処理浄化槽

- ・ 転換が必要な人に伝えることが大事
- ・ 河川の水質改善効果を啓発
- ・ 住民の集まる場において啓発
- ・ 普及促進につながる仕組みづくりが必要

## ○下水道

- ・整備促進・普及啓発

⇒ 接続率向上につなげる

## ○合併処理浄化槽

- ・浄化槽台帳を活用、ターゲットを絞った啓発の実施
- ・合併処理浄化槽の未普及地区の河川データを整理して重点対策
- ・住民集会等での出前講座の開催

⇒ 効果的な啓発活動の実施

- ・普及啓発に向けた新たな制度の研究

⇒ 新たな制度づくりの研究

# 汚水処理人口普及対策 スケジュール (案)

汚水処理人口普及対策 スケジュール(案)

				～令和8年3月		
項目			5月 とくしま 浄化槽 連絡協 議会	8月 汚水 処理人 口普及 対策 会議	秋頃 とくしま 浄化槽 連絡協 議会	
	対策会議の意見	取組項目	県が実施	県・市町村・環境技術センターが実施	県・市町村が実施	
下水道 (整備促進 普及啓発)	下水道を整備した区域は全国レベルまで接続率を高める	整備促進、普及啓発	【整備～接続率の向上】	未普及対策の実施	住民への普及啓発	
浄化槽 (効果的な啓発)	転換をお願いしたい人に深く伝えることが大事	浄化槽台帳を活用、ターゲットを絞った啓発の実施	【浄化槽台帳システム基礎データ情報提供】	▼市町村職員に対する浄化槽2次元パ ーコート貼付説明会 ▼市町村担当者会議	市町村情報提供	
	単独浄化槽の耐用年数が経過した世帯に働きかける		【未普及地点の洗い出し～啓発】	箇所選定(市町村との調整)	R6実施 重点エリアの絞り込み 啓発	
	浄化槽の保守点検業者等に依頼し、改修の必要な単独槽宅にチラシを配布		【効果的な啓発の実施】	※昨年度データより	住宅耐震化工事に併せた合併浄化槽の転換呼びかけ	※県と市町村が協同で普及啓発
合併処理浄化槽の未普及地区の河川データを整理し重点対策	小規模河川の水質改善をメリットとして住民に啓発	合併処理浄化槽の未普及地区の河川データを整理し重点対策	【測定地点の決定】	箇所選定(市町村との調整)	R6実施 測定・結果共有(勉強会等)	
	メディアを利用したPRや狙いを絞った啓発が重要		【BOD測定】	※未普及箇所の絞り込み(5か所程度)	R6実施 HPを活用し普及啓発	
	単独浄化槽の付近の小さい川の水質を測定してほしい		【周辺住民への啓発】			
住民集会等での出前講座の開催	自治会の総会等の住民が集まる場において資料配布等でアピール	住民集会等での出前講座の開催	【住民へのPR】	説明会開催箇所選定(市町村との調整)	R6実施 説明会開催 継続的に開催	
	繰り返し伝えることで普及効果が見込まれる		【出前講座の実施】	※施設見学、下水の日キャンペーン、浄化槽の日キャンペーンを実施	県と市町村が協同で普及啓発	
浄化槽 (新たな制度づくり)	補助金を出すなど継続して普及できる仕組みをつくるべき	普及啓発に向けた新たな制度の研究	【事例調査】	市町村への情報提供		
	浄化槽を一括購入し住民に安く提供できるしくみづくり		【維持管理の支援制度】	維持管理費支援制度検討	R6実施 補助金支援制度の要望等	
	浄化槽にも下水道と同じ従量制(浄化槽の実流量)による料金体系の導入		【浄化槽の料金体制の見直し】	従量制の研究、補助金の制度拡充の検討		

## ● 下水道の整備～接続率の向上

### ＜取組方針＞

○令和17年度までに、下水道整備を概成

下水道整備率 19.5% (R5末：集計中)



27.2% (R17末) ※とくしま生活排水処理構想2022

- ・事業実施 徳島市、鳴門市、阿南市、吉野川市、美波町、海陽町、松茂町、北島町、藍住町、板野町
- ・概成済み 美馬市、つるぎ町、東みよし町

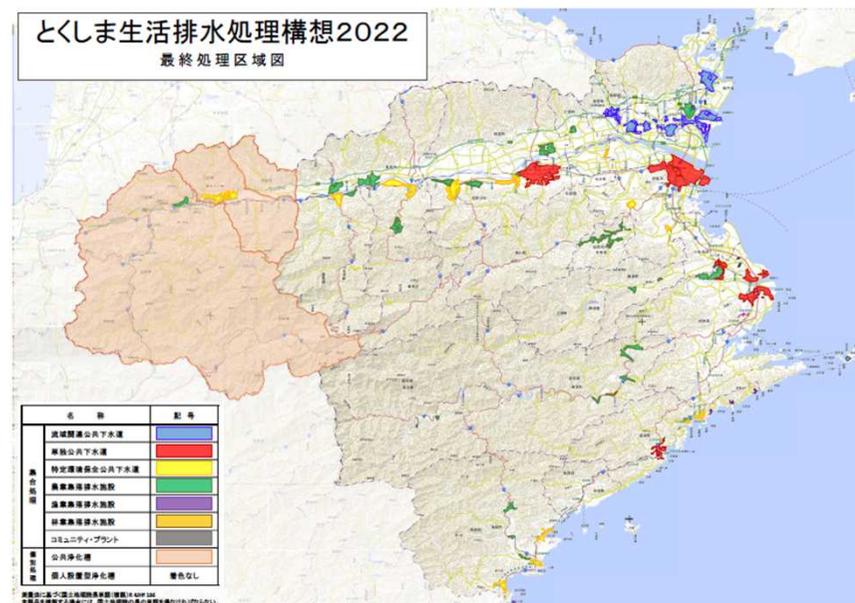
○接続率の向上

接続率 78.2% (R5末：集計中)



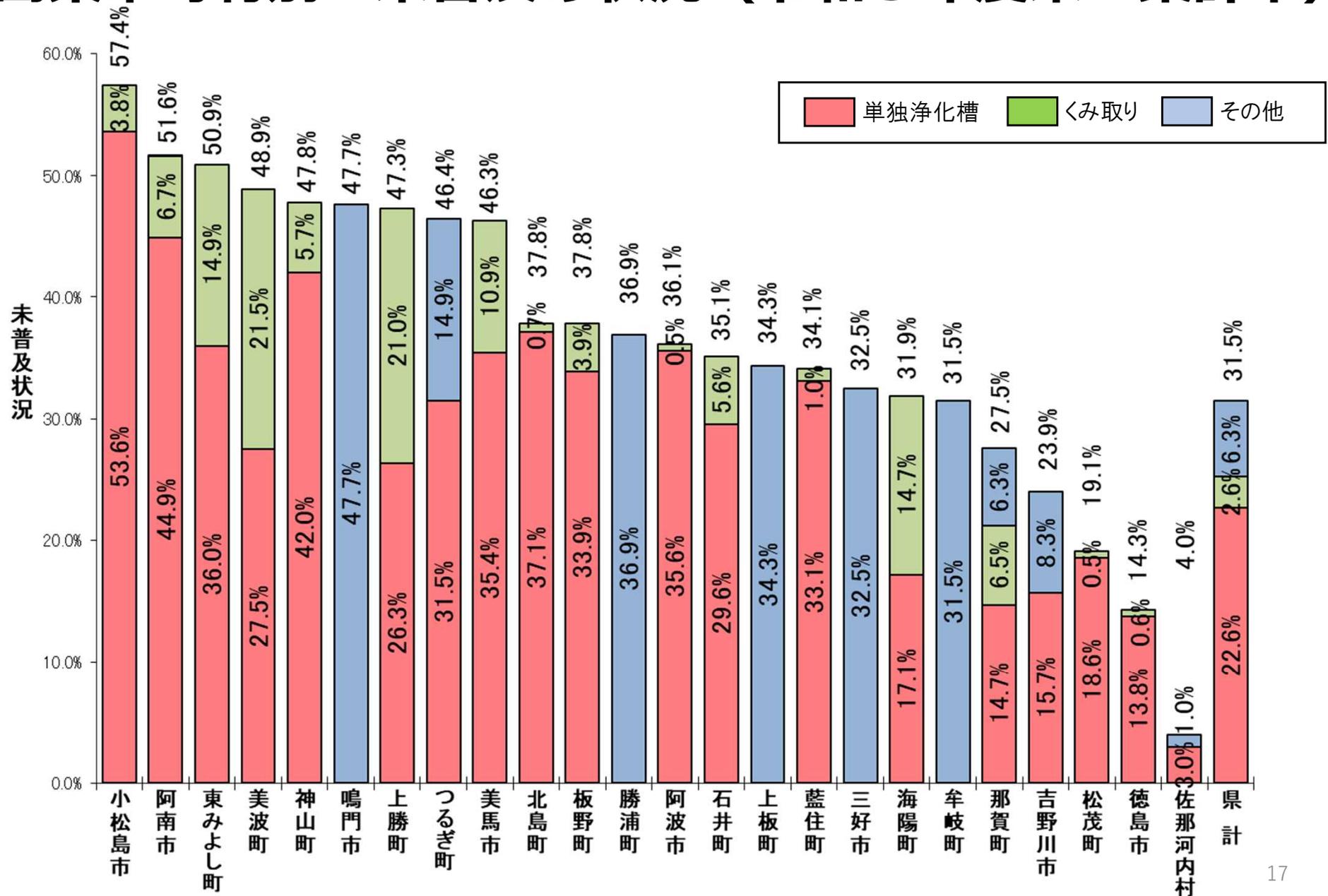
更なる普及啓発を実施  
(生活環境の改善、汚水処理の意義等)

※新たな整備区域において接続率を高める



# 徳島県における合併浄化槽の未普及状況

## ● 徳島県市町村別 未普及の状況（令和5年度末：集計中）

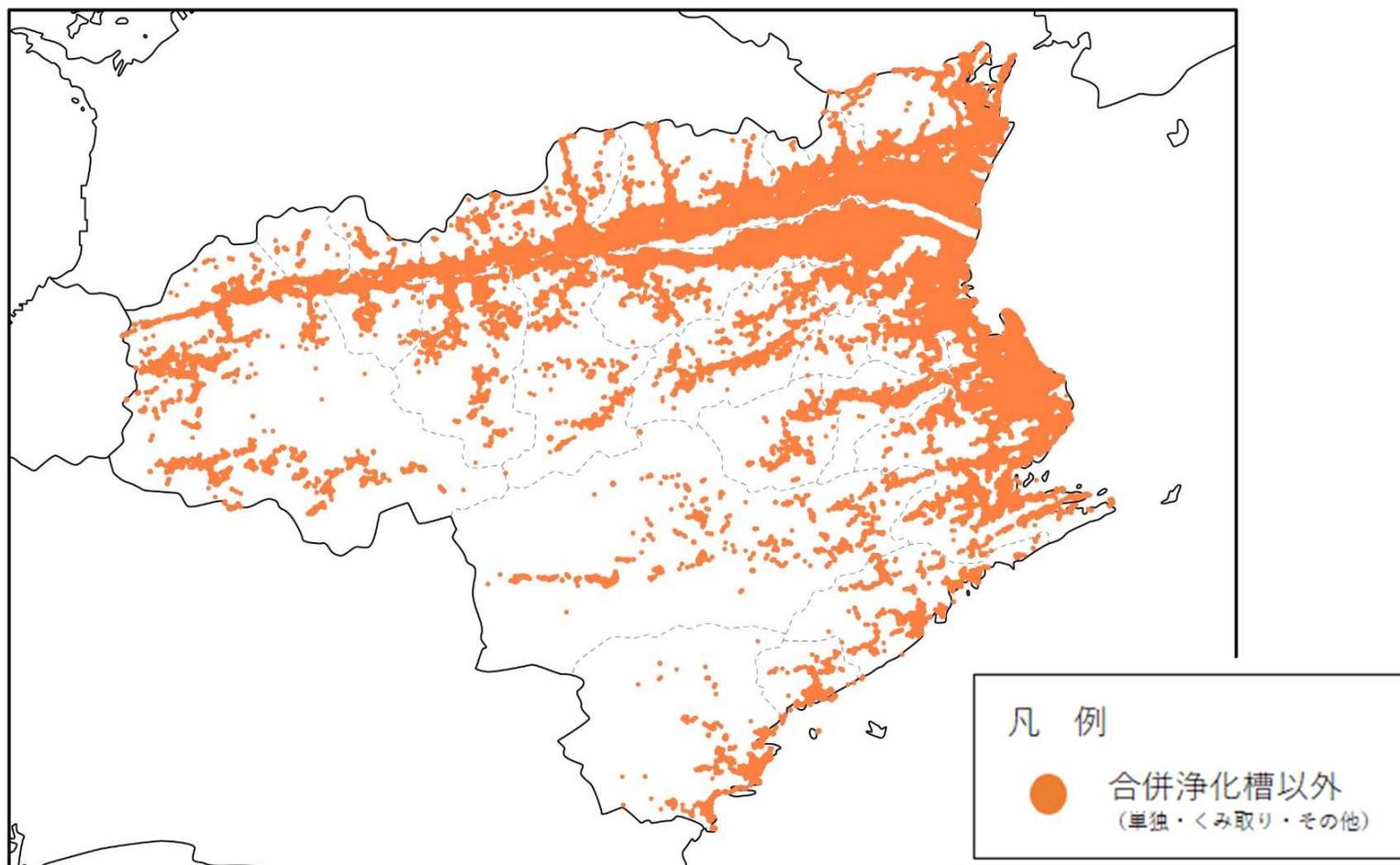


# 合併処理浄化槽の未普及が多い地区

- 単独浄化槽が多い地域
- 浄化槽全体で単独浄化槽が占める割合が高い



合併処理浄化槽の未普及が多い地区を重点対策(ターゲットを絞る)



## ● 浄化槽台帳を活用し、ターゲットを絞った効果的な啓発の実施

### <取組方針>

- 1 浄化槽台帳システム基礎データを市町村へ提供
  - ⇒ 情報提供を実施
  - ⇒ 合併浄化槽の普及促進やD X化に寄与
  
- 2 未普及地点の洗い出し～啓発
  - ⇒ 箇所選定～重点エリア絞り込み～啓発  
(市町村と調整)
  
- 3 効果的な啓発の実施
  - ⇒ 新たに住宅耐震化工事に合わせた合併浄化槽の転換を呼びかけ

# 未普及地区の河川データを整理し重点対策

## ● 合併処理浄化槽の未普及地区の河川データ(水質)を整理し重点対策

### <取組方針>

- 1 選定地点の決定  
⇒ 5カ所程度選定(市町村と調整)
- 2 BOD測定  
⇒ 調査機関に測定を依頼(市町村・地元と調整)
- 3 地元住民への普及啓発  
⇒ 測定結果をHPなど活用し、普及啓発に繋げる

## <取組方針>

### 1 住民へのP R

⇒ 説明会開催箇所の選定～開催  
(市町村と調整)

⇒ 9月10日に「下水道の日キャンペーン」を予定

⇒ 10月に「浄化槽月間キャンペーン」を予定

### 2 出前講座の実施

⇒ 継続して市町村と連携し実施



## <取組方針>

### 1 事例調査

⇒ 担当者会議を通じ情報提供を実施

### 2 維持管理の支援制度

⇒ 市町村の意見聴取、支援制度の拡充を検討

### 3 浄化槽の料金体制の見直し

⇒ 従量制の研究

⇒ 補助金の制度拡充の検討